

## 1. プログラム

### ワークショップ ファシリテーター:

**林田 暢明** 氏（総務省 地域力創造アドバイザー）

## 多摩市 若者会議

### 【テーマ】

- R1. 「自己紹介&近況報告」
- R2. 「拠点でのコラボレーション」  
⇒若者の視点からみた市の課題」
- R3. 「若者会議 × 地域連携のアイデア出し」
- R4. 「来年度に向けて、  
『若者会議 × 地域』のための政策提言」
- R5. 「（R4の成果をA4用紙に落とす）」
- R6. 「まち歩きアイデア出し」
- R7. 「意見発表」

今回は、「拠点の内容検討」と「フィールドワーク設計」の2本立てです！



## 3. 議論のまとめ

- 各グループで意見をまとめられた意見やアイデアを発表します。
- フィールドワークの案としては、「住民の思う多摩の穴場めぐりをインタビュー形式で行う」というアイデアや「商店街めぐり」等のアイデアが出ました。
- 一方、**地域との連携**では、拠点を活用して、「キャリアの伝承を行う」、「**固くないテーマで語れる場を提供する**」、「**地域課題の共有やマッチングを行うプラットフォームとする**」等のアイデアが出されました！



<発表の様子>



<意見のまとめ>

## 2. 当日の様子

- 参加者数：26名（平均年齢26.6歳）
- 冒頭、本年度整備予定の「**若者のまちづくり拠点**」の場所・名称等について、**ファシリテーターの林田氏**から報告がありました。
- その後はワールドカフェ方式※により、「**①拠点で実現したい地域との連携**」、「**②次年度のアイデア検討&拠点での連携を検討するためのフィールドワークの設計**」の2つの議題についてグループで話し合いました。



### <参加者の声>

- ・社会人の方と話す機会はとても貴重でした。
- ・前に参加した時よりも色々な属性の方がいて、自由に議論ができていたと思います。

※ワールドカフェ方式：4～5人の小グループに分け、カフェのようなくつろいだ雰囲気、度々メンバーを交換（ラウンド）することで、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待できる議論の手法

## 4. 今後の流れ

- 第2回若者会議の議論を踏まえ、「若者のまちづくり拠点」の名称が、「**未知カフェ-TAMA REVIVAL-**」（ミチカフェ タマリバイバル）に決定しました！
- 内装整備に向けて、**9月7日からクラウドファンディングを実施します！**ご支援の程、よろしくお願いします！（1月オープン予定）



クラウドファンディングページ  
(Ready for)用QRコード→



- 次回は、平成30年9月22日（土）に、**次年度のアイデア検討&「未知カフェ-TAMA REVIVAL-」での連携を検討するためのフィールドワーク**を開催します！詳細が決定次第、公式HP等でご案内いたしますので、ぜひお気軽にお申込みください。

### 【お問合せ先】

多摩市企画政策部企画課 Tel 042-338-6813（直通）

公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/category/2-9-11-0-0.html>

クラウドファンディングページ(Ready for) [https://readyfor.jp/projects/tama\\_michicafe](https://readyfor.jp/projects/tama_michicafe)

市HP用  
QRコード

